

「ジェンダーフリー」という考え方は、「ジェンダーそのものをなくす」という意味で捉えることは適切ではありません。

ジェンダーとは、生物学的な性別ではなく、地域や社会、文化の中で形成される「男らしさ」「女らしさ」といった社会的・文化的な性差を指す概念です。

本講演では、住宅を閉じた私的空間としてではなく、山本理顕が提唱する「地域社会圏」の考え方を手がかりに、地域の人々や社会とゆるやかにつながる場として捉えます。そして、ジェンダーの視点から住宅のあり方を見直すことで、多様な人々が暮らしやすい住環境や、これからの暮らしや社会のあり方について考察します。



講師

山本 理顕 さん

建築家／山本理顕設計工場

credit Tom Welsh for The Hyatt Foundation/
Pritzker Architecture Prize

住宅と

ジェンダー

2026年10月3日 土

13:30~16:00

- 13:00 ▶ 受付開始
- 13:30 ▶ あいさつ
- 13:40~15:10 ▶ 講演
- 15:10~15:25 ▶ 休憩
- 15:25~16:00 ▶ 質疑応答

定員

100名

参加費無料
[先着順]

申込方法

9月25日(金)までに、インターネット又はFAXでお申し込みください。

(詳しくは裏面をご参照ください)

お申込み後、定員内の場合は特にご連絡いたしません。当日、会場へお越しください。
事前の申込みなしではご入場いただけません。

Googleフォーム ▶



ホームページ ▶



お問合せ先 東海ジェンダー研究所事務局

TEL: 052-324-6591 FAX: 052-324-6592
E-mail: info@libra.or.jp HP: https://libra.or.jp

会場 名古屋都市センター
11Fホール

(名古屋市中区金山町一丁目1番1号 金山南ビル)

主催 公益財団法人 東海ジェンダー研究所

会場案内図



講師紹介

山本 理顕(やまもと りけん)

建築家/山本理顕設計工場

1968年 日本大学理工学部建築学科卒業
1971年 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修了
東京大学生産技術研究所原広司研究室研究生
2007-2011年 横浜国立大学大学院 教授

2018-2022年 名古屋造形大学 学長
2022-2024年 東京藝術大学 客員教授
2024年 神奈川大学 客員教授
横浜国立大学 名誉教授・名誉博士

主な作品にGAZEBO、埼玉県立大学、公立はこだて未来大学、横須賀美術館、The CIRCLE チューリッヒ国際空港、名古屋造形大学など。桃園、天津、北京、ソウルなどでも複合施設、公共建築、集合住宅などを手掛ける。

主な著書に『新編 住居論』(平凡社)、『地域社会圏主義』(TWOVIRGINS)、『権力の空間/空間の権力』(講談社)、『都市美』(河出書房新社)、『コミュニティと建築』(平凡社)など。

2001年「第57回日本芸術院賞」、2024年プリツカー賞、文化庁長官表彰(国際芸術部門)、2025年クリスタル・アワード(世界経済フォーラム)受賞。



10月3日「講演会」申し込み



『インターネット』でのお申し込み



◀Googleフォームからのお申し込み

東海ジェンダー研究所HPからのお申し込み ▶

下記URLにアクセスしてページ下部の参加申し込みフォームからお申し込みください

<https://libra.or.jp/ivent-info/lecture-symposium/>



『FAX』でのお申し込み

項目をご記入の上、下記FAX番号までお送りください

FAX : 052-324-6592 (公益財団法人 東海ジェンダー研究所 事務局あて)

ふりがな			
氏 名			
電話番号		FAX番号	
E-mail			

*参加申込書の個人情報は、本講座の実施目的以外に使用いたしません。

ご来場の皆さまへ

★体調がすぐれない方は、ご参加をお控えいただきますよう、お願いいたします。